

Dear Host Family (DHF) レター作成要領



DHF レターは提出書類の中でもフォトコラージュと同じくとても個人的なもので、ホストファミリーにとって非常に重要な審査材料と言えます。それは個人が作成したレターには事実の情報だけではなく、その人の性格や人となりも反映されるからです。オペアはホストファミリーに興味を持ってもらえるよう自分のことがベストな形で表現されているレターを作成する必要があります。

レターは自分なりの言葉で作成する必要がありますが、下記はどのような内容について書けばうまくまとまるか、についてのガイドラインです。レターを書く際にぜひ参考にしてください。

Let's write a letter...

<レターの長さ>

ワードで2枚程度(短すぎても長すぎてもいいレターにはなりません。ちょうど2ページくらいが読みやすい長さと言えます)。必ずパソコンで作成してください。

<レターの内容>

1. 一段落目
自己紹介を詳細に書きましょう。
名前、年齢、住んでいる場所、家族構成、家族のこと、仕事、性格(長所&短所)など。
2. 二段落目
オペアプログラム参加の志望動機について説明してください。ホストファミリーはただ外国に遊びに来たいのではないかと不安に感じる人が多いものです。自分がオペアとして外国で暮らしたい理由を明確に説明しましょう。
英語の上達、子供と接することが好き、海外の文化を学びたい、などオペアプログラムならではの特典について、自分の情熱が伝わるようにしましょう。
またこの段落で、これまでの自分の保育/養育経験についても説明しましょう。
3. 三段落目
最後の段落では『オペアへの抱負』を書きましょう。「私はこんなオペアになりたい」「子供達にはこういうことをしてあげたい」など、自分がオペアとなったことを想像して、どんなサポートを提供してあげられるかについて考えてみてください。ホストファミリーはそれを読んで、「この人が我が家に来たら、こういう感じになるかなあ。子供達とはこういうことをして遊んでくれるかなあ。こういうことも一緒にやってもらえるかなあ」といろいろイメージを沸かせてうまくいくかどうかシミュレーションをしてみるのです。いい印象を持ってもらえればインタビューに繋がるということになります。

作文は苦手な方でも、「オペアになりたい強い希望」は皆さん同じです。その気持ちがファミリーに伝わるように、心をこめて書いてみましょう。ファミリーの心に届くのは文章のうまい下手では決りません。英語の文章力がない場合も、その人の情熱が伝われば必ずホストファミリーに伝わるものです。

以上